

市立伊丹病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年11月策定

平成31年 3月改定

【1.現状と課題】※「新公立病院改革プラン」(平成29年3月) 参照

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

1. 地域医療支援病院としての役割を果たし、地域完結型の医療を推進する
2. 兵庫県指定がん診療連携拠点病院としての役割を果たす。
3. 5疾病5事業での役割

今後地域において担うべき役割											
がん	脳卒中	新血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	その他
○	○	○	○		○			○	○	○	

② 今後持つべき病床機能

当圏域は、圏域内完結率78.7%と県内で低い状況であると言われているが、隣接する他圏域からの流入もあり、圏域ごとの人口を加味すればそれほど流出が多いと言えない状況にある。しかし、住民にとって身近な場所で受けたい医療が受療できるように、不足する医療機能を提供できるよう、循環器系診療科を中心に強化していくとともに高度急性期病床の整備を進めていく。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	54	→	87
急性期	348		315
回復期			
慢性期			
(合計)			

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	循環器内科病床の整備を進めるとともに、不整脈に対するアブレーション治療の提供を進める。	新たに〇〇床を急性期から高度急性期病床へ整備する。	
2018年度			
2019～2020年度			
2021～2023年度			

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：81.3%
- ・ 手術室稼働率：50.0%
- ・ 紹介率：80.0%
- ・ 逆紹介率110%

経営に関する項目*

- ・ 人件費率：53.5%
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：0.50%

その他：

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

（自由記載）